

平成27年度 第1回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

受注単価に下げ止まり感がある。また、採算状況について「黒字」と回答する企業が段階的に増えており、採算性に改善傾向が見られる。ただし、受注量は見通しも含め頭打ち傾向にある。

<業種別の特徴>

- (1)受注量 : 鉄鋼・非鉄、電気機器で下げ幅が大きい。
- (2)受注見通し : 鉄鋼・非鉄、樹脂製品で下げ幅が大きい。
- (3)受注単価 : 「低下」と回答する企業の割合が調査ごとに減少傾向。
- (4)資金繰り : 鉄鋼・非鉄、樹脂製品で「悪化」と回答した企業の割合が大きく増加。
- (5)採算状況 : 「黒字」と回答する企業の割合が調査ごとに増加。
- (6)受注余力 : 一般機器が「受注余力あり」側に大きく振れた。

(注) 本報告書で使用するDIとはデフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成27年4月～6月
(平成27年6月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35社	② 金属製品関係	45社
③ 一般機器関係	45社	④ 電気機器関係	45社
⑤ 輸送用機器関係	35社	⑥ 精密機器関係	40社
⑦ 樹脂製品関係	40社		

(3) 調査時点

平成27年6月30日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

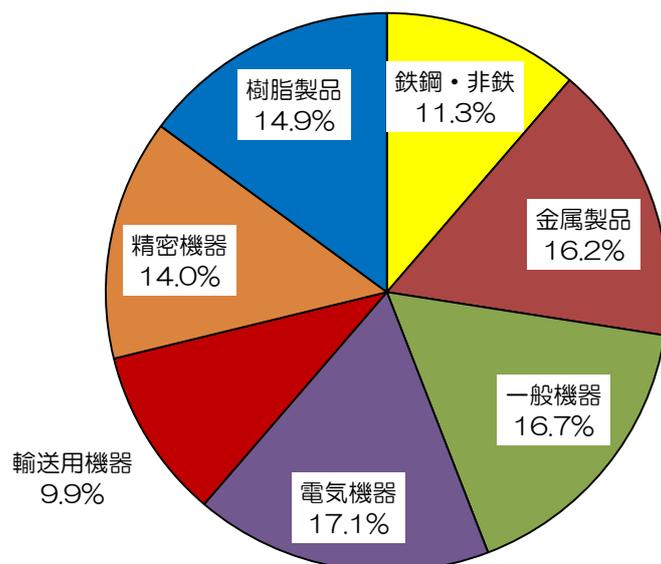
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	285社		
② 回答企業	222社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	25社	(11.3%)
	金属製品関係	36社	(16.2%)
	一般機器関係	37社	(16.7%)
	電気機器関係	38社	(17.1%)
	輸送用機器関係	22社	(9.9%)
	精密機器関係	31社	(14.0%)
	樹脂製品関係	33社	(14.9%)
④ 回答率	77.9%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	4 1.8%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.1%
~300万円	14 6.3%	1 4.0%	3 8.3%	0 0.0%	1 2.6%	4 18.2%	2 6.5%	3 9.1%
301~999万円	12 5.4%	1 4.0%	1 2.8%	1 2.7%	1 2.6%	3 13.6%	2 6.5%	3 9.1%
1000~2000万円	132 59.5%	15 60.0%	27 75.0%	22 59.5%	26 68.4%	5 22.7%	18 58.1%	19 57.6%
2001~5000万円	46 20.7%	6 24.0%	5 13.9%	13 35.1%	6 15.8%	4 18.2%	6 19.4%	6 18.2%
5000万円超	14 6.3%	1 4.0%	0 0.0%	1 2.7%	3 7.9%	6 27.3%	3 9.7%	0 0.0%
合 計	222 100%	25 100%	36 100%	37 100%	38 100%	22 100%	31 100%	33 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

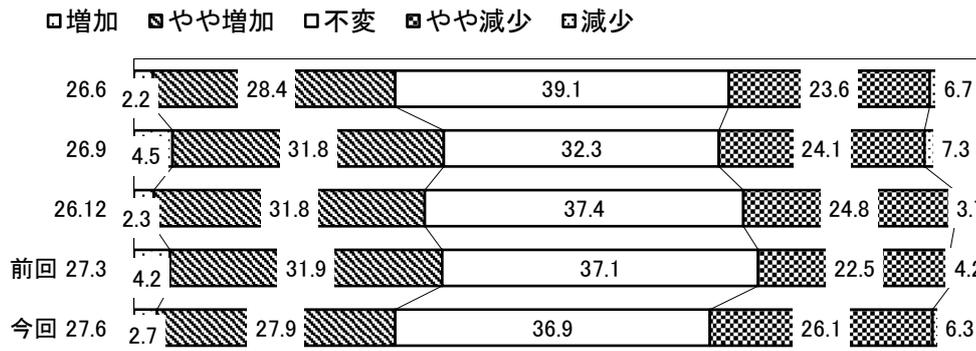
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	20 9.0%	8 32.0%	0 0.0%	1 2.7%	2 5.3%	4 18.2%	1 3.2%	4 12.1%
6~10人	22 9.9%	5 20.0%	2 5.6%	1 2.7%	4 10.5%	2 9.1%	4 12.9%	4 12.1%
11~20人	70 31.5%	3 12.0%	15 41.7%	15 40.5%	9 23.7%	5 22.7%	11 35.5%	12 36.4%
21~30人	31 14.0%	4 16.0%	10 27.8%	6 16.2%	4 10.5%	1 4.5%	3 9.7%	3 9.1%
31~50人	33 14.9%	3 12.0%	5 13.9%	6 16.2%	7 18.4%	2 9.1%	5 16.1%	5 15.2%
51人以上	46 20.7%	2 8.0%	4 11.1%	8 21.6%	12 31.6%	8 36.4%	7 22.6%	5 15.2%
合 計	222 100%	25 100%	36 100%	37 100%	38 100%	22 100%	31 100%	33 100%

3. 調査結果

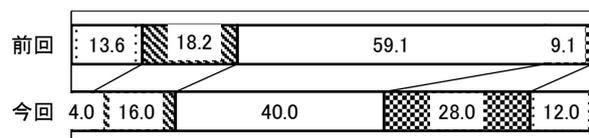
(1) 受注量について

(%)

①全体



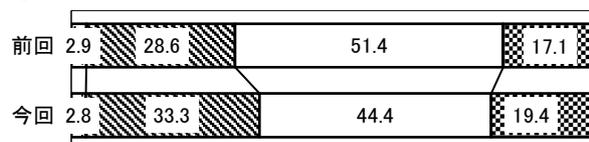
②鉄鋼・非鉄



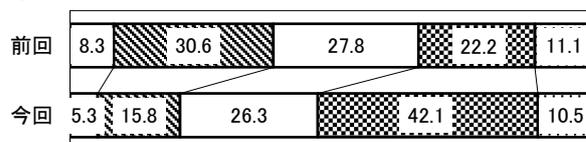
③金属製品



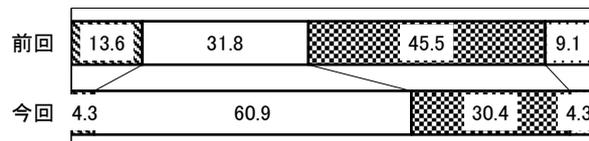
④一般機器



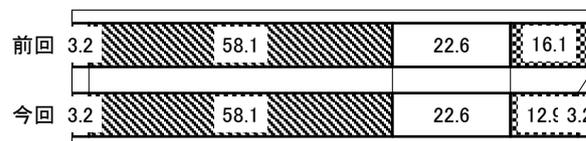
⑤電気機器



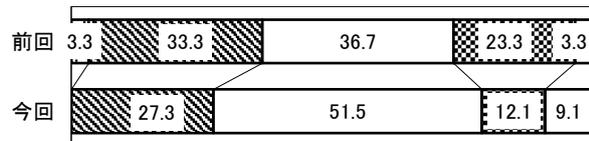
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



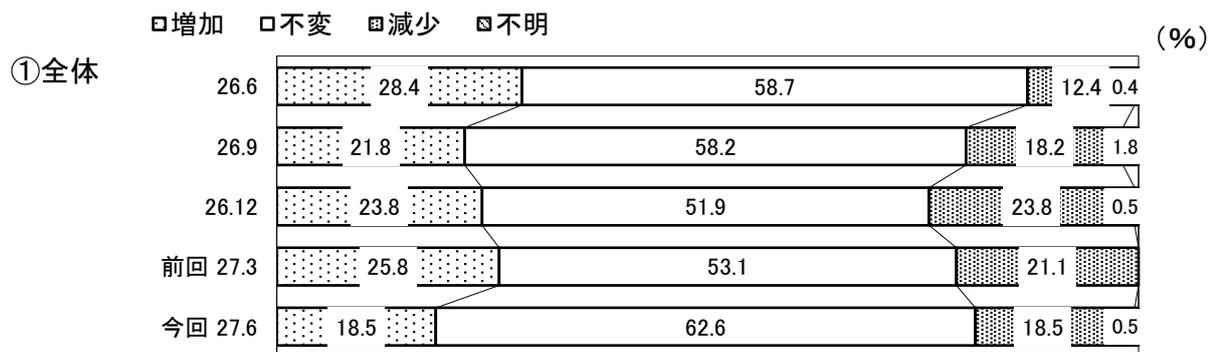
○全体

・4月～6月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲1.8となり、前期（1月～3月期）のDI 9.4と比べ11.2ポイント低下した。

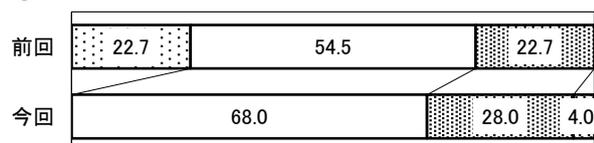
○業種別

- ・業種7分類中DIがプラスであったのは一般機器(16.7)、精密機器(45.2)、樹脂製品(6.1)の3業種であり、マイナスであったのは鉄鋼・非鉄(▲20.0)、金属製品(▲5.6)、電気機器(▲31.5)、輸送用機器(▲30.4)の4業種である。
- ・業種7分類中DIが上昇したのは一般機器(2.3)、輸送用機器(10.6)の2業種であり、低下したのは鉄鋼・非鉄(▲42.7)、金属製品(▲5.6)、電気機器(▲37.1)、樹脂製品(▲3.9)の4業種である。（精密機器は前期比±0）
- ・一般機器は前期DI 14.4から今期DI 16.7と高い値で推移し、引き続き好調である。
- ・精密機器は前期DI 45.2から今期も同様のDI 45.2と、引き続き好調である。
- ・鉄鋼・非鉄はDI▲20.0と前期DI 22.7と比べ42.7ポイント低下し、下げ幅が大きい。
- ・電気機器はDI▲31.5と前期DI 5.6と比べ37.1ポイント低下し、下げ幅が大きい。

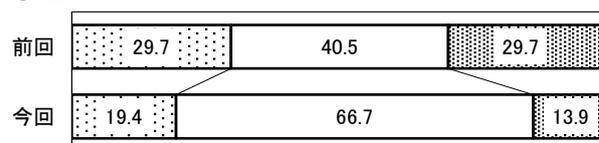
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



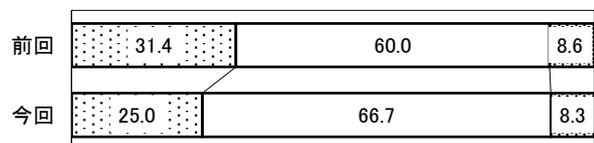
②鉄鋼・非鉄



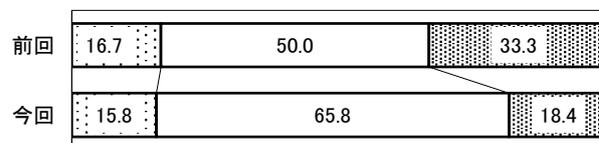
③金属製品



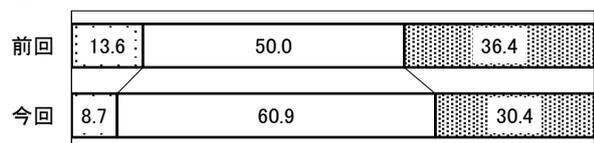
④一般機器



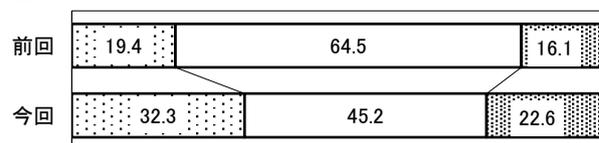
⑤電気機器



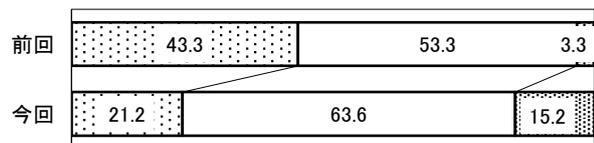
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期（7月～9月期）の受注量見通しの業況判断DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は±0となり、前期調査時のDI 4.7に比べ4.7ポイント低下した。

○業種別

・業種7分類中DIがプラスであったのは金属製品(5.5)、一般機器(16.7)、精密機器(9.7)、樹脂製品(6.0)の4業種であり、マイナスであったのは鉄鋼・非鉄(▲28.0)、電気機器(▲2.6)、輸送用機器(▲21.7)の3業種である。

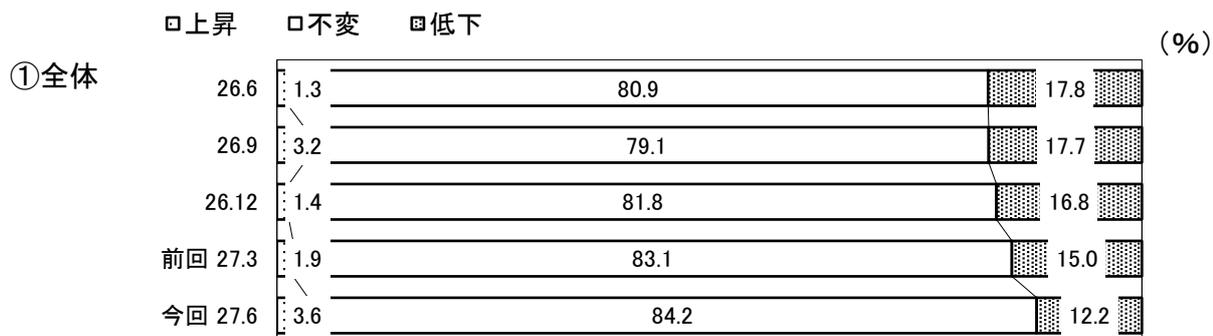
・業種7分類中DIが上昇したのは金属製品(5.5)、電気機器(14.0)、輸送用機器(1.1)、精密機器(6.4)の4業種であり、低下したのは鉄鋼・非鉄(▲28.0)、一般機器(▲6.1)、樹脂製品(▲34.0)の3業種である。

・電気機器は「減少」と答えた企業の割合が大きく減少した。

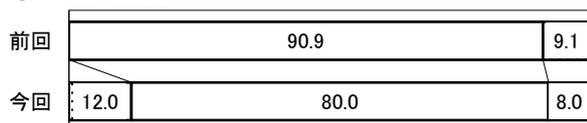
・鉄鋼・非鉄はDI▲28.0と前期DI±0と比べ28.0ポイント低下し、下げ幅が大きい。

・樹脂製品はDI 6.0から前期DI 40.0と34.0ポイント低下し、DIはプラスながらも下げ幅が大きい。

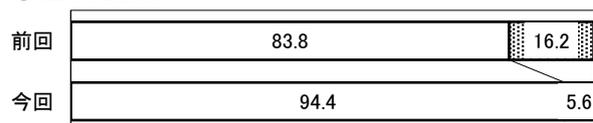
(3) 受注単価について



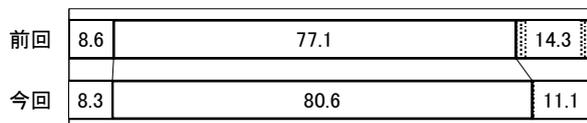
②鉄鋼・非鉄



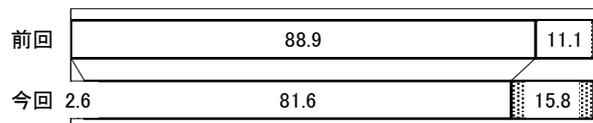
③金属製品



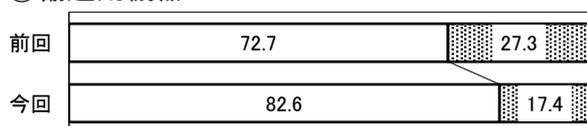
④一般機器



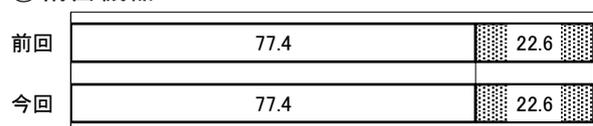
⑤電気機器



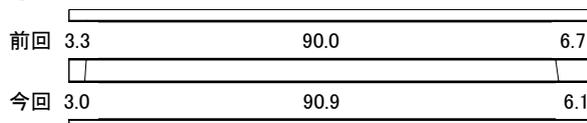
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・4月～6月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲8.6となり、前期（1月～3月期）のDI▲13.1と比べ4.5ポイント上昇した。
- ・「低下」と回答する企業の割合が調査ごとに減っており、直近で比べると2.8ポイント低下した。

○業種別

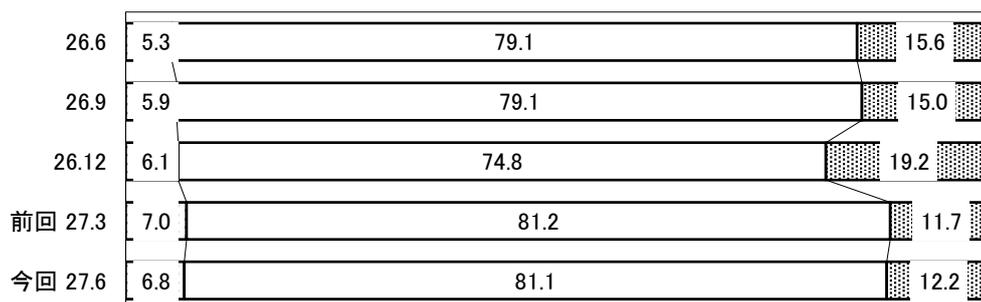
- ・業種7分類中DIがプラスであったのは鉄鋼・非鉄(4.0)のみで、他の6業種のDIはマイナスであった。
- ・業種7分類中DIが上昇したのは鉄鋼・非鉄(13.1)、金属製品(10.6)、一般機械(2.9)、輸送用機器(9.9)、樹脂製品(0.3)の5業種であり、低下したのは電気機器(▲2.1)の1業種であった。（精密機器は前期比±0）
- ・10ポイント以上上昇しているのは鉄鋼・非鉄（13.1ポイント上昇）と、金属製品（10.6ポイント上昇）である。
- ・大きな低下を示している業種はない。

(4) 資金繰りについて

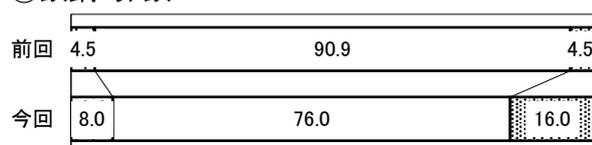
(%)

①全体

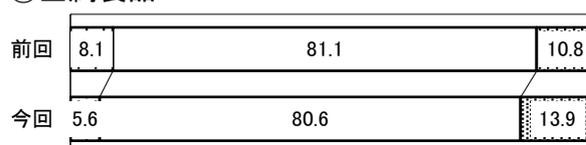
□好転 □不変 □悪化



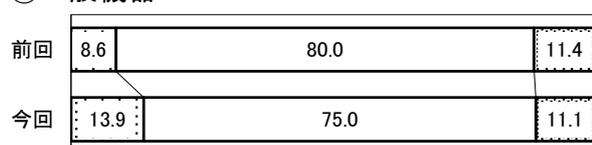
②鉄鋼・非鉄



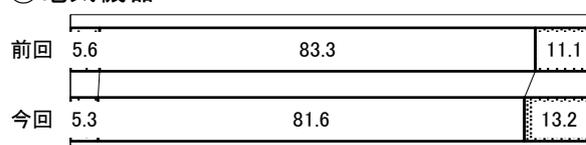
③金属製品



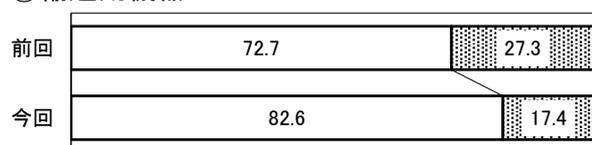
④一般機器



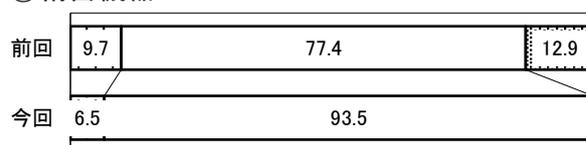
⑤電気機器



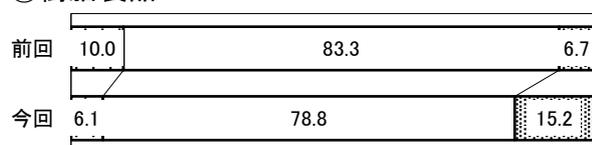
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・4月～6月期の資金繰りの業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲5.4となり、前期（1月～3月期）のDI▲4.7と比べ0.7ポイント低下したものの大きな変化は見られない。

○業種別

・業種7分類中DIがプラスであったのは一般機器(2.8)、精密機器(6.5)の2業種であり、マイナスであったのは鉄鋼・非鉄(▲8.0)、金属製品(▲8.3)、電気機器(▲7.9)、輸送用機器(▲17.4)、樹脂製品(▲9.1)の5業種である。

・業種7分類中DIが上昇したのは一般機器(5.6)、輸送用機器(9.9)、精密機器(9.7)の3業種であり、低下したのは鉄鋼・非鉄(▲8.0)、金属製品(▲5.6)、電気機器(▲2.4)、樹脂製品(▲12.4)の4業種である。

・10ポイント近く上昇しているのは輸送用機器(9.9ポイント上昇)と、精密機器(9.7ポイント上昇)である。

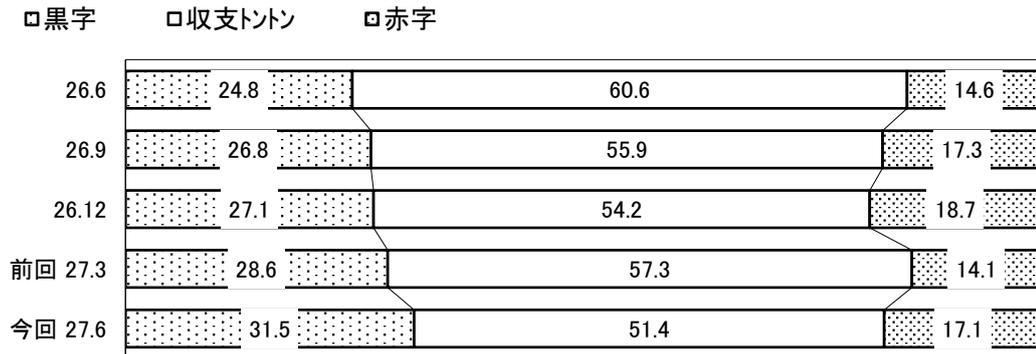
・10ポイント以上低下しているのは樹脂製品(12.4ポイント低下)である。

・鉄鋼・非鉄、樹脂製品については「悪化」と答えた企業の割合が増加した。

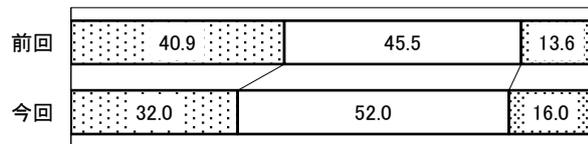
(5) 採算状況について

(%)

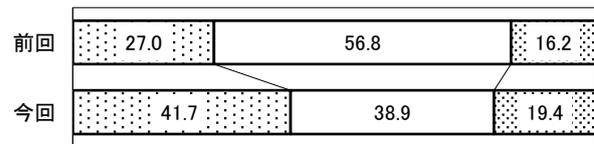
①全体



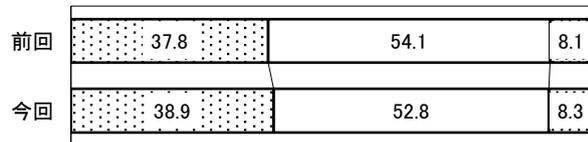
②鉄鋼・非鉄



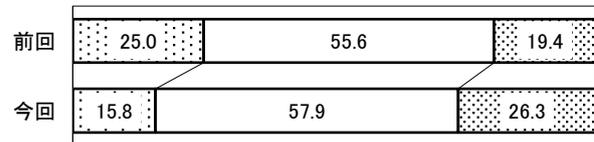
③金属製品



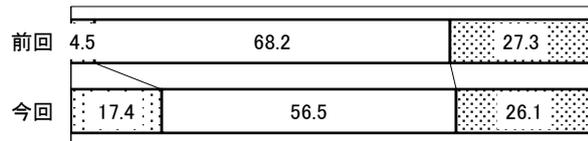
④一般機器



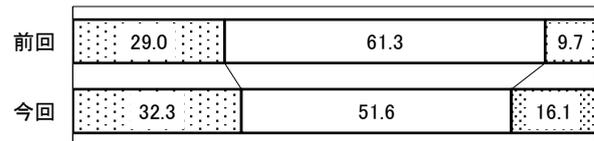
⑤電気機器



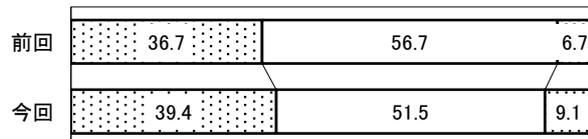
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・4月～6月期の採算状況の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は14.4となり、前期（1月～3月期）のDI 14.5と比べ0.1ポイントと僅かながら低下した。
- ・調査ごとに「黒字」と回答する企業の割合が増加している。

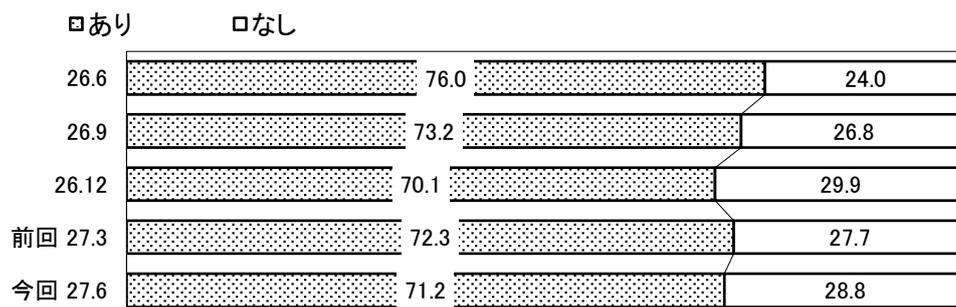
○業種別

- ・業種7分類中DIがプラスであったのは鉄鋼・非鉄(16.0)、金属製品(22.3)、一般機器(30.6)、精密機器(16.2)、樹脂製品(30.3)の5業種であり、マイナスであったのは電気機器(▲10.5)、輸送用機器(▲8.7)の2業種である。
- ・業種7分類中DIが上昇したのは金属製品(11.5)、一般機器(0.9)、輸送用機器(14.1)、樹脂製品(0.3)の4業種であり、低下したのは鉄鋼・非鉄(▲11.3)、電気機器(▲16.1)、精密機器(▲3.1)の3業種である。
- ・10ポイント以上上昇しているのは金属製品（11.5ポイント上昇）と、輸送用機器（14.1ポイント上昇）である。
- ・10ポイント以上低下しているのは鉄鋼・非鉄（11.3ポイント低下）と、電気機器（16.1ポイント低下）である。

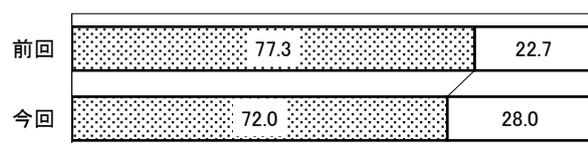
(6) 受注余力について

(%)

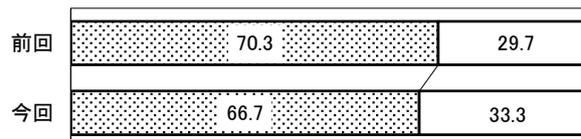
①全体



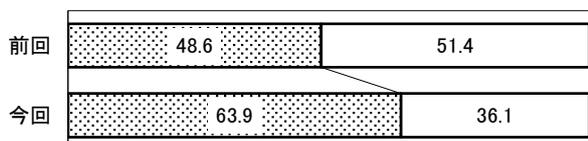
②鉄鋼・非鉄



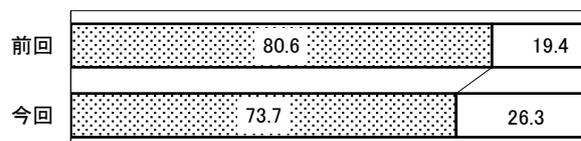
③金属製品



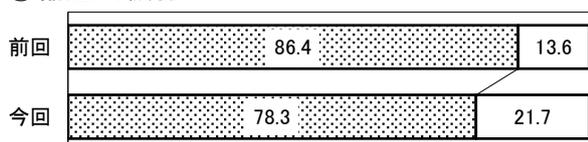
④一般機器



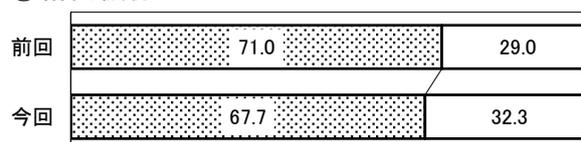
⑤電気機器



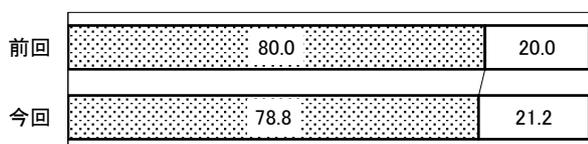
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・4月～6月期の受注余力の業況判断DI（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は42.4となり、前期（1月～3月期）の44.6と比べ2.2ポイント低下し「受注余力なし」側に振れた。
- ・受注余力の業況判断DIの推移は「受注余力あり」とする企業の割合と「受注余力なし」とする企業の割合に大きな変化は見られない。

○業種別

- ・業種7分類中すべてでDIがプラス（「受注余力あり」）となっている。
- ・業種7分類中DIが上昇したのは一般機器(30.6)のみで、他の6業種のDIは低下し「受注余力なし」側に振れた。
- ・一般機器は前期DI▲2.8から今期DI 27.8と30.6ポイント上昇し、「受注余力あり」側に大きく振れた。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp